

# 令和5年度 大阪市立摂陽中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、学校が各調査の結果や各調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、各調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにし、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

## 1 「全国学力・学習状況調査」の調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## 2 「中学生チャレンジテスト」の調査の目的

- (1) 大阪府教育委員会が、府内における生徒の学力を把握・分析することにより、大阪の生徒課題の改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図る。  
加えて、調査結果を活用し、大阪府公立高等学校入学者選抜における評定の公平性の担保に資する資料を作成し、市町村教育委員会及び学校に提供する。
- (2) 市町村教育委員会や学校が、府内全体の状況との関係において、生徒の課題改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、学力向上のためのPDCAサイクルを確立する。
- (3) 学校が、生徒の学力を把握し、生徒への教育指導の改善を図る。
- (4) 生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力に目標を持ち、また、その向上への意欲を高める。

### 1 全国学力・学習状況調査

| 学年 | 実施月日  | 生徒数<br>(人) | 平均正答率(%) |      |      | 平均無解答率(%) |      |     |     |
|----|-------|------------|----------|------|------|-----------|------|-----|-----|
|    |       |            | 国語       | 数学   | 英語   | 国語        | 数学   | 英語  |     |
| 3年 | 学校    | 120        | 62       | 47   | 36   | 5.8       | 11.2 | 8.2 |     |
|    | 大阪市   | —          | 67       | 49   | 44   | 5.2       | 11.0 | 6.6 |     |
|    | 4月18日 | 全国         | —        | 69.8 | 51.0 | 45.6      | 4.6  | 9.6 | 5.7 |

### 2 中学生チャレンジテスト

| 学年 | 実施月日 | 生徒数<br>(人) | 平均点(点) |      |      |      |      | 平均無解答率(%) |      |      |      |     |     |
|----|------|------------|--------|------|------|------|------|-----------|------|------|------|-----|-----|
|    |      |            | 国語     | 社会   | 数学   | 理科※  | 英語   | 国語        | 社会   | 数学   | 理科※  | 英語  |     |
| 3年 | 学校   | 120        | 59.9   | 49.6 | 49.8 | 43.0 | 46.0 | 10.2      | 2.7  | 10.1 | 9.4  | 7.4 |     |
|    | 大阪市  | —          | 62.3   | 54.2 | 51.9 | 47.8 | 54.3 | 9.9       | 2.9  | 10.6 | 8.0  | 6.2 |     |
|    | 9月5日 | 大阪府        | —      | 62.1 | 54.7 | 52.2 | 47.6 | 54.2      | 10.3 | 3.1  | 11.2 | 9.0 | 6.5 |

※ 3年生の理科はC問題を選択

令和5年度 大阪市立摂陽中学校のあゆみ  
—結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

調査結果から

●「全国学力・学習状況調査結果」

【成果と課題】

昨年に比べて、全体の平均正答率が改善してきた。しかし今回も、国語は7.8ポイント、数学は4.0ポイント、英語は9.6ポイント全国平均を下回る結果となった。また、平均無解答率は全国平均を上回っている。教科ごとの結果は以下の通りである。

〈国語〉

「ことばの意味を答える問題」や「説明について適切なものを選ぶ問題」については正答率が高く、全国正答率を上回った。しかし「読んだ文章を参考にして、知識や経験に触れながら書く問題」については、全国平均に-15.0ポイントと、大きく差が開いた。課題としては、「基本知識を問う問題」に関しては比較的正答率が高いが、「自分の考えを書く問題」ではかなり正答率が低く、自分を表現する練習を増やす必要がある。

〈数学〉

「数と式」の分野については正答率が高く、全国平均に-1.3ポイントに迫った。また、「自然数に関する問題」では全国平均を大きく上回る結果となった。しかし、説明を必要とする文章問題では正答率がかなり低かった。「一次関数の理解」を問う問題では正答率が大幅に低く、基本練習を重ねる必要がある。

〈英語〉

「リスニング問題」や「適切な語を選択する問題」については比較的正答率は高かったが、全国平均を下回った。特に「英文を完成させる問題」についての正答率は、全国平均を大きく下回る結果となった。課題としては、基礎基本の知識を定着させ、得点源を確保するための学習の積み重ねが必要である。

〈質問紙調査〉

「自分にはよいところがあると思う」「人の役に立つ人間になりたい」の項目で、肯定回答が全国平均を上回った。自己肯定感を高める日々の学習活動が実を結びつつある。

しかし、「学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)」や「土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)」についての肯定回答は、全国平均に比べてかなり低く、自分から進んで学習をすることや、家庭学習の定着に課題が見られる。また、読書時間も全国平均に比べ大幅に低い結果となった。

【今後に向けて】

「全国学力・学習状況調査」の結果より、学力面については、授業内ではもちろんのこと、授業以外の時間でも、復習する時間の確保が必要不可欠と考える。内容の要約や自分の考えを記述するようなことは、基礎基本の知識の上に成り立つものであるから、どの教科においても基礎基本の定着を重点的に進められるよう、復習プリントや小テストを定期的実施していく。また、自学自習の習慣を身につけるため、学びコラボレーター・学びサポーター・学校元気アップコーディネーターの協力のもと、「放課後学習会」を毎日実施し、授業時間以外の学習を習慣化していきたい。

生活面については、携帯電話やスマートフォンを使用する時間が多いので、フィルタリングサービスを活用するなど使用のルールを確認し、家庭と協力してSNSトラブルに巻き込まれない・巻き込まないよう指導していく。

今後も、各調査結果を教職員で共有し、充実した学習活動を推進すべく、学校全体で取り組んでいく。

令和5年度 大阪市立摂陽中学校のあゆみ  
—結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

●「中学生チャレンジテスト(3年生)」

【成果と課題】

<国語>

○成果

府平均に比べ2.2ポイント下回る結果となったが、全ての領域において府平均に近づいている。特に「書くこと」「思考・判断・表現」においては府平均を上回る結果となり、一定の成果を見ることができた。

○課題

漢字の読み書きが他に比べ苦手である。普段の授業などで定着させる必要がある。

<社会>

○成果

府平均に比べ5.1ポイント下回る結果となった。地理的分野、歴史的分野のどちらも府平均の-3ポイント以内、短答式や記述式は-1ポイント以内と、一定の成果は見えた。

○課題

地理的分野が苦手なので、世界地理や日本地理について復習が必要である。選択式の問題の正答率が低かったので、グラフなどを正しく読み取る「読解力」を身に付けさせる必要がある。

<数学>

○成果

府平均に比べ2.4ポイント下回る結果となったが、全ての領域において府平均に近づいている。特に「データの活用」においては府平均を上回ることができた。

○課題

「根号を含む四則計算」は-11.1ポイント、「式の展開の計算」は-10.6ポイントと差があったため計算力が課題である。計算以外にも「三角形の合同を証明する」が、-12.3ポイントと差があったので、繰り返し証明問題にも取り組み定着させていく。

<理科>

○成果

府平均に比べ4.6ポイント下回っていたが、分野によっては府平均を上回るものもあった。しかし、知識・技能や、記述で答える設問では正答率が低かった。

○課題

記述問題に加え、作図の問題(光、力の合成、分解など)の正答率も低いので復習が必要である。基本語句の定着も大切なので、繰り返し練習させたい。

<英語>

○成果

府平均に比べ8.2ポイント下回る結果となった。「書くこと」は-4.5ポイントと少し開きがあったが、「読むこと」は-1.5ポイント、「聞くこと」は-2.2ポイントの差にとどまり、一定の成果を見ることができた。

○課題

「書くこと」の分野が他の分野と比べて正答率が低いので、基本単語・基本文型の定着をより一層図っていく必要がある。また、普段から家庭学習において復習をおこなっていくことも「書くこと」の向上には不可欠である。

<アンケート>

○成果

アンケート調査においては「学校などで、他の人と協力し合うことができている」「難しいことがあっても、あきらめない」についての肯定回答が、府平均を上回った。

○課題

アンケート調査の「普段(月曜日から金曜日)、一日当たりどれくらいの時間、本(教科書は除く)を読みますか」について、全く読まないとの回答が47.5パーセントと、読書の習慣がない生徒が非常に多い。また「普段(月曜日から金曜日)、一日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンを使いますか」について、3時間以上使用するとの回答が64.1パーセントと、非常に高い数値となった。

【今後に向けて】

「中学生チャレンジテスト(3年生)」の結果より、各教科・各領域において少しずつではあるが府平均に近づき一定の成果が見られる。国語であれば漢字の読み書きの復習、数学であれば計算問題の復習と、どの教科においても復習する時間の確保が必要不可欠だと改めてわかった。基礎基本の知識定着を重点的に進めていく。また、「読書」の習慣が身に付くよう、図書室の活用をさらに促進させていく必要がある。

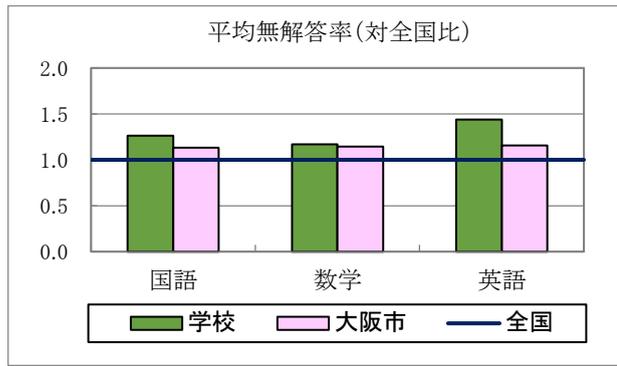
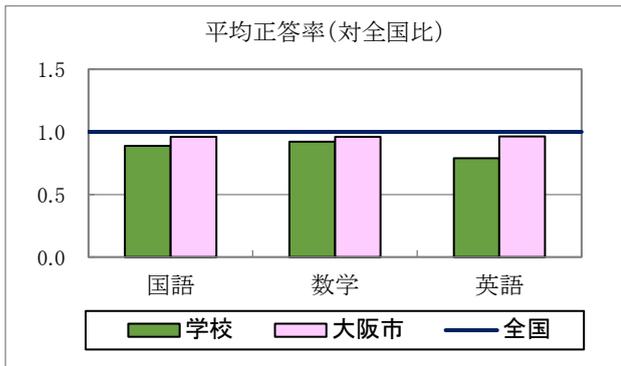
令和5年度 大阪市立摂陽中学校のあゆみ  
—結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【 全 体 】

|     | 平均正答率(%) |      |      |
|-----|----------|------|------|
|     | 国語       | 数学   | 英語   |
| 学校  | 62       | 47   | 36   |
| 大阪市 | 67       | 49   | 44   |
| 全国  | 69.8     | 51.0 | 45.6 |

|     | 平均無解答率(%) |      |     |
|-----|-----------|------|-----|
|     | 国語        | 数学   | 英語  |
| 学校  | 5.8       | 11.2 | 8.2 |
| 大阪市 | 5.2       | 11.0 | 6.6 |
| 全国  | 4.6       | 9.6  | 5.7 |

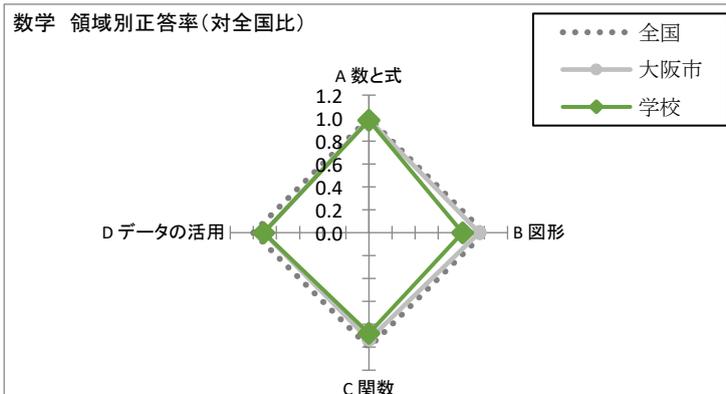
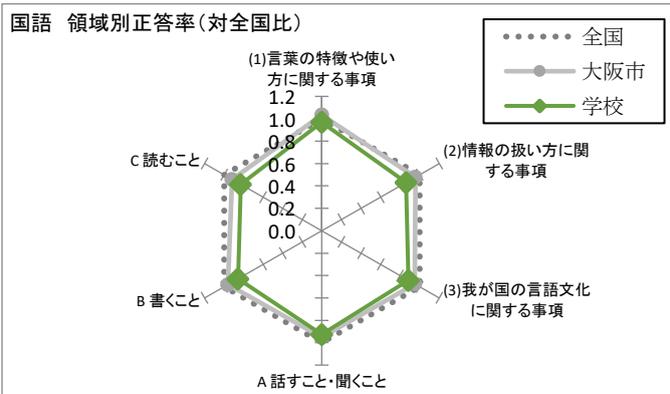
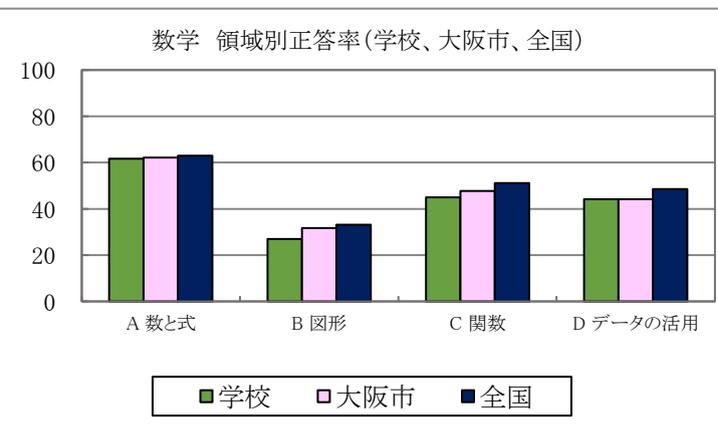
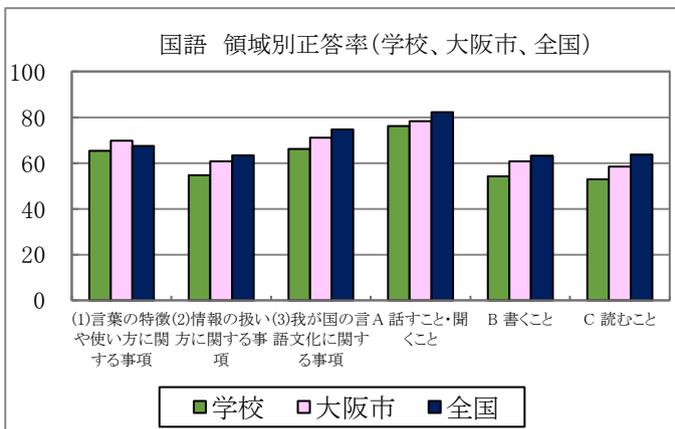


【 国 語 】

| 学習指導要領の内容          | 対象設問数(問) | 平均正答率(%) |      |      |
|--------------------|----------|----------|------|------|
|                    |          | 学校       | 大阪市  | 全国   |
| (1)言葉の特徴や使い方に関する事項 | 2        | 65.4     | 69.8 | 67.5 |
| (2)情報の扱い方に関する事項    | 2        | 54.6     | 60.7 | 63.4 |
| (3)我が国の言語文化に関する事項  | 3        | 66.1     | 71.1 | 74.7 |
| A 話すこと・聞くこと        | 3        | 76.1     | 78.2 | 82.2 |
| B 書くこと             | 2        | 54.2     | 60.8 | 63.2 |
| C 読むこと             | 4        | 52.9     | 58.5 | 63.7 |

【 数 学 】

| 学習指導要領の領域 | 対象設問数(問) | 平均正答率(%) |      |      |
|-----------|----------|----------|------|------|
|           |          | 学校       | 大阪市  | 全国   |
| A 数と式     | 5        | 61.7     | 62.1 | 63.0 |
| B 図形      | 3        | 26.9     | 31.7 | 33.2 |
| C 関数      | 4        | 45.0     | 47.8 | 51.2 |
| D データの活用  | 3        | 44.2     | 44.2 | 48.5 |

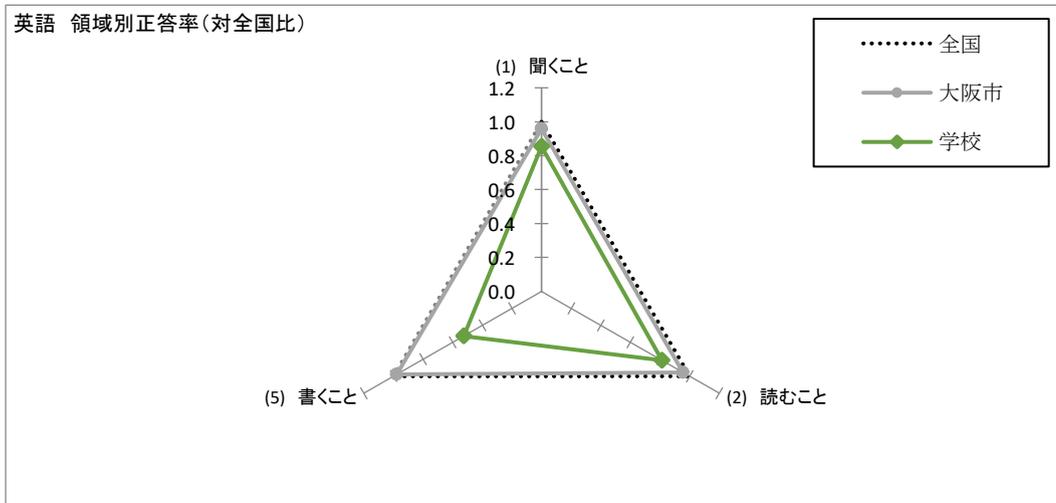
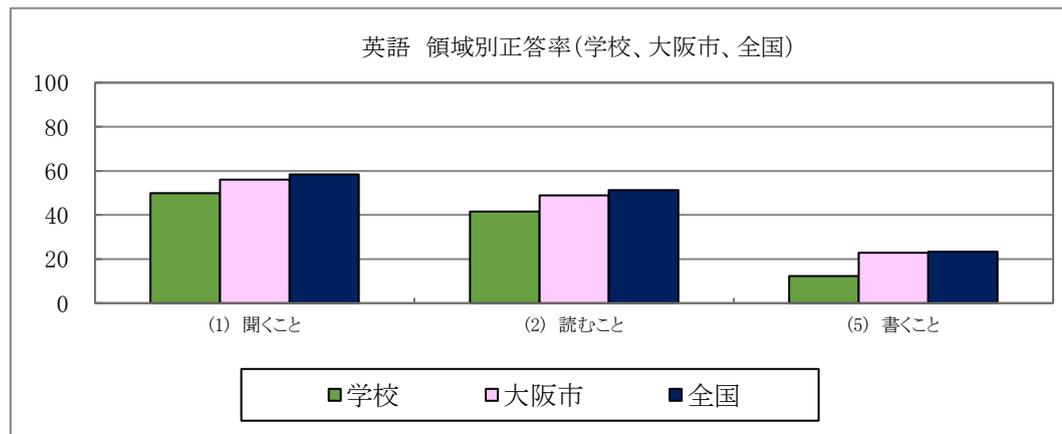


令和5年度 大阪市立摂陽中学校のあゆみ  
—結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【英 語】

| 学習指導要領の<br>領域  | 対象<br>設問数<br>(問) | 平均正答率(%) |      |      |
|----------------|------------------|----------|------|------|
|                |                  | 学校       | 大阪市  | 全国   |
| (1) 聞くこと       | 6                | 49.9     | 56.0 | 58.4 |
| (2) 読むこと       | 6                | 41.6     | 48.9 | 51.2 |
| (3) 話すこと[やり取り] | 0                |          |      |      |
| (4) 話すこと[発表]   | 0                |          |      |      |
| (5) 書くこと       | 5                | 12.3     | 22.9 | 23.4 |

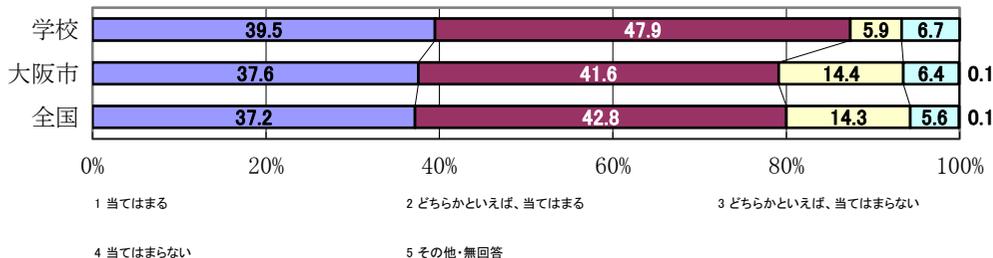


# 令和5年度 大阪市立摂陽中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

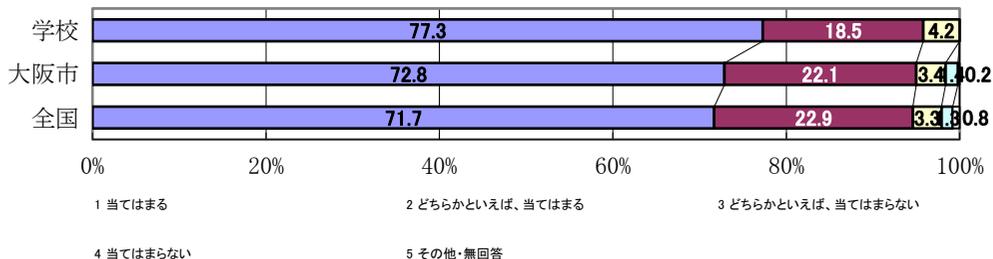
## 生徒質問紙より

□1 □2 □3 □4 □5 □6 □7 □8

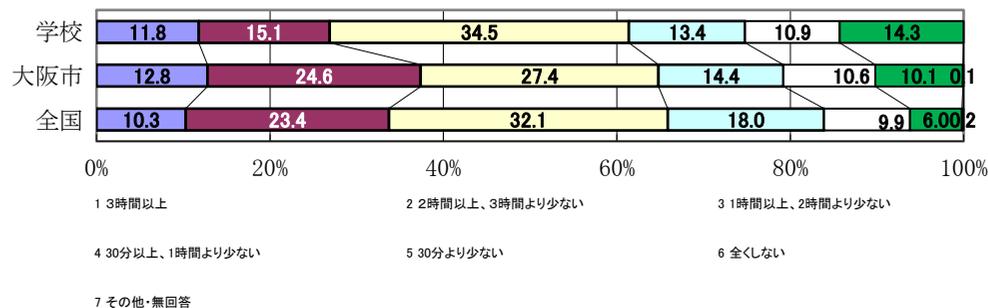
|                  |
|------------------|
| 質問番号             |
| 質問事項             |
| 4                |
| 自分には、よいところがあると思う |



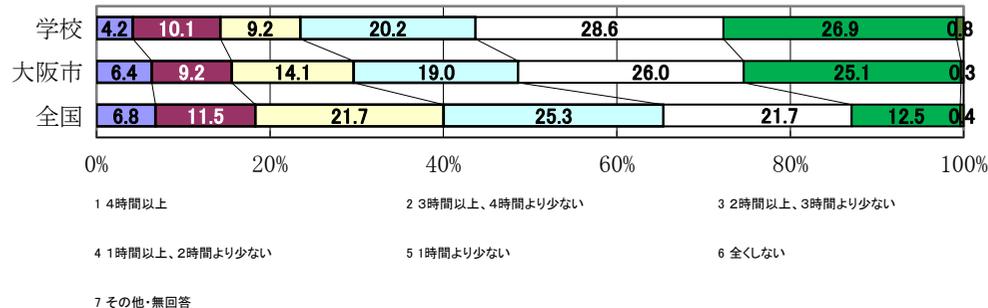
|                  |
|------------------|
| 11               |
| 人の役に立つ人間になりたいと思う |



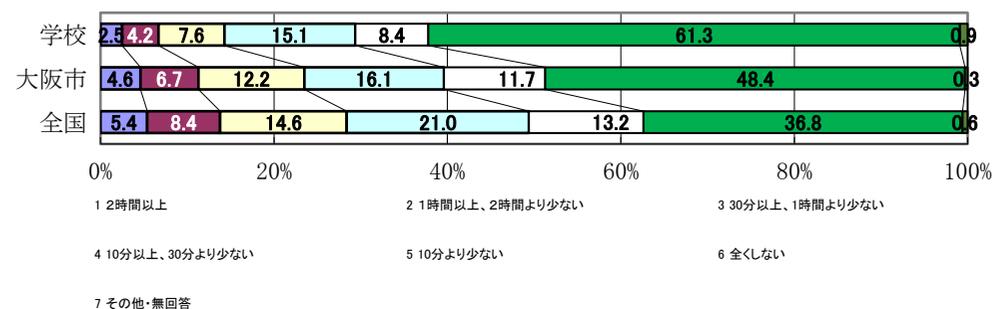
|   |
|---|
| 17  |
| 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含まれます) |



|   |
|---|
| 18  |
| 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含まれます) |



|   |
|---|
| 20  |
| 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書(電子書籍の読書も含みます)をしますか(教科書や参考書、漫画や雑誌は除きます) |



# 令和5年度 大阪市立摂陽中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

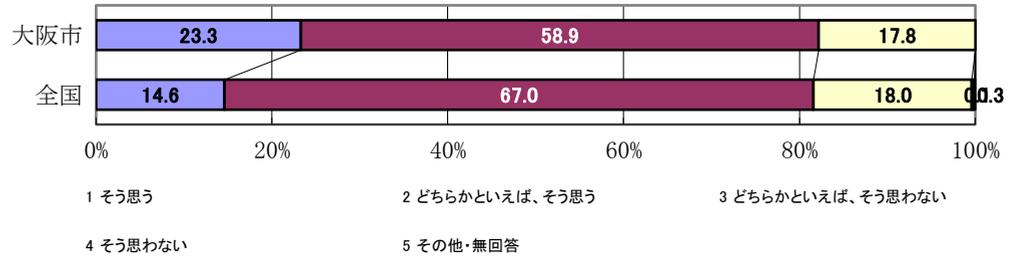
## 学校質問紙より



|      |
|------|
| 質問番号 |
| 質問事項 |

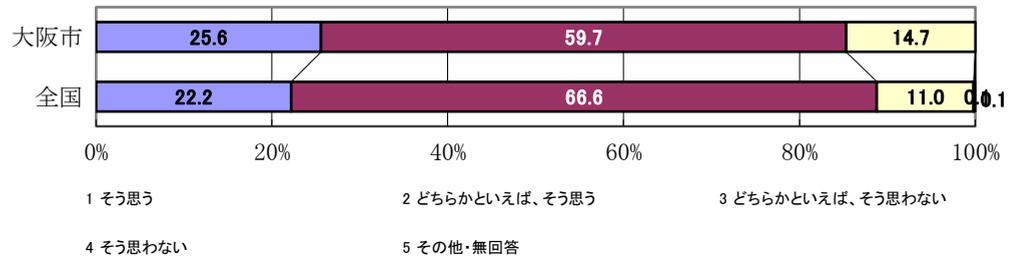
|  |
|--|
| 27   |
| 調査対象学年の生徒は、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができる |

学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



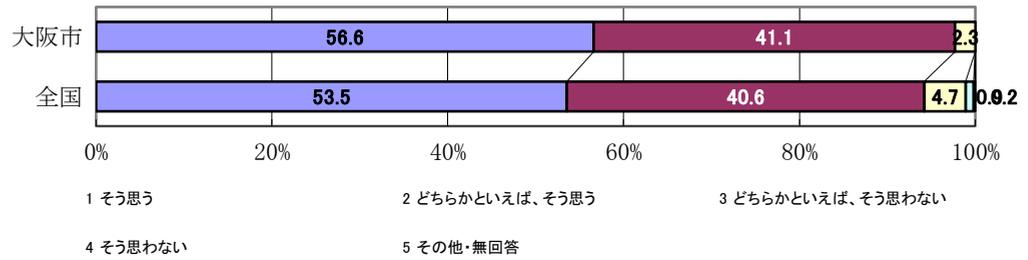
|  |
|--|
| 28   |
| 調査対象学年の生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができる |

学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



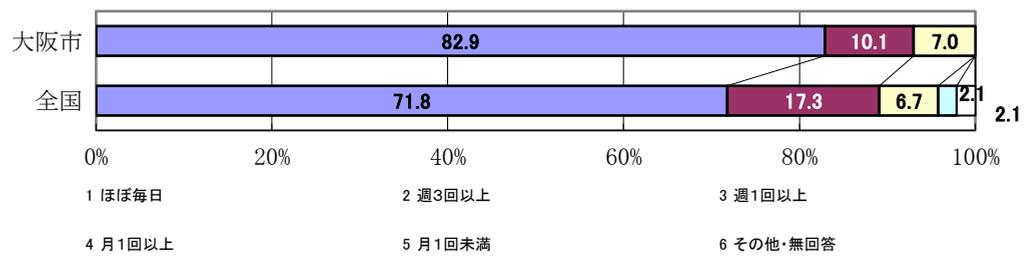
|   |
|---|
| 56  |
| 英語担当教師とALT(外国語指導助手)との間で、授業のねらいや活動の意図、各学級や一人一人の生徒の実態等について共通認識を持ち、協力して授業を行うことができていると思いますか |

学校 「そう思う」を選択



|   |
|---|
| 60  |
| 前年度に、教員が大型提示装置等(プロジェクター、電子黒板等)のICT機器を活用した授業を1クラス当たりどの程度行いましたか |

学校 「ほぼ毎日」を選択



|  |
|--|
| 62   |
| コンピュータなどのICT機器の活用に関して、学校内外において十分に必要なサポートが受けられていますか |

学校 「そう思う」を選択

